市民説明会参加者アンケート結果

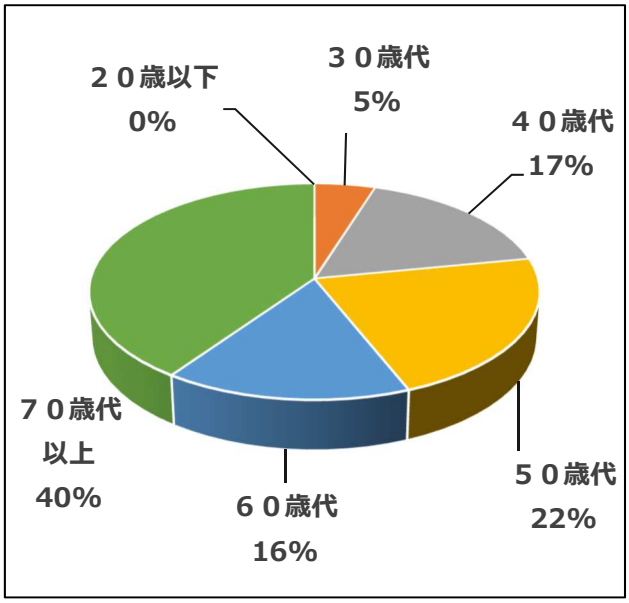
令和４年（２０２２年）４月１６日・２２日開催

開催日	４月１６日	４月２２日
参加人数	４８人	４０人
回答人数	４６人	３６人

問１　年齢を教えてください。
１．20 歳以下　２．30 歳代　３．40 歳代　４．50 歳代
５．60 歳代　６．70 歳代以上

回答１

１．20 歳以下	０人
２．30 歳代	４人
３．40 歳代	１４人
４．50 歳代	１８人
５．60 歳代	１３人
６．70 歳代以上	３３人

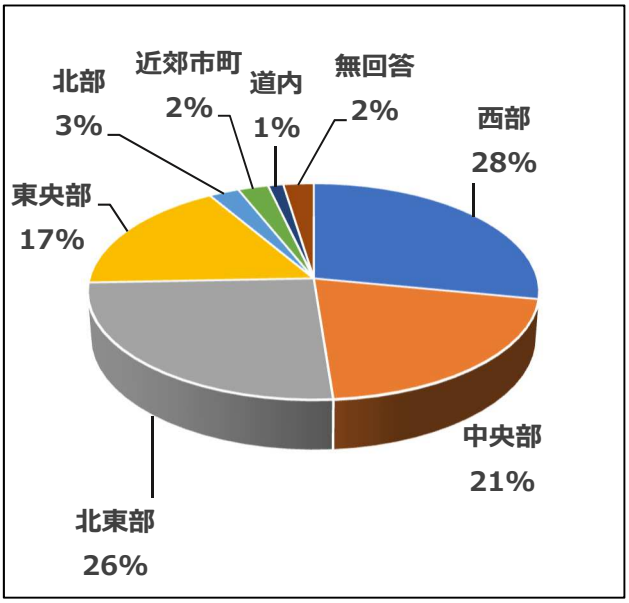


○50 歳代以上の参加者が，全体の７８％となっており，４０歳代以下の参加者が少ない状況であった。

問２　お住まいの町名を教えてください。
（市外にお住まいの場合は市名をご記入してください）

回答２

西部地区	２３人
中央部地区	１７人
北東部地区	２１人
東央部地区	１４人
北部	２人
近郊市町	２人
道内	１人
無回答	２人



○若松町や松風町を含む西部地区に居住の参加者が最も多く，全体の２８％を占めた。
次に，北東部地区，中央部地区の居住者の参加が多かった。

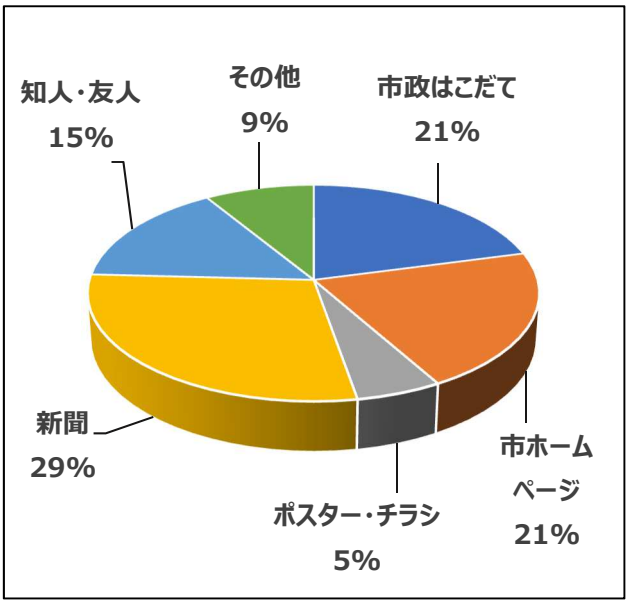
問３　今回の市民説明会はどこで知りましたか。

１．市政はこだて　　２．市ホームページ　　３．ポスター・チラシ

４．新聞　　５．知人・友人　　６．その他（　　）

回答３（複数回答）

１．市政はこだて	１９件
２．市ホームページ	１９件
３．ポスター・チラシ	５件
４．新聞	２６件
５．知人・友人	１４件
６．その他	８件



○「新聞」が２６件，「市政はこだて」と「市ホームページ」が，それぞれ１９件と周知に効果的であった。

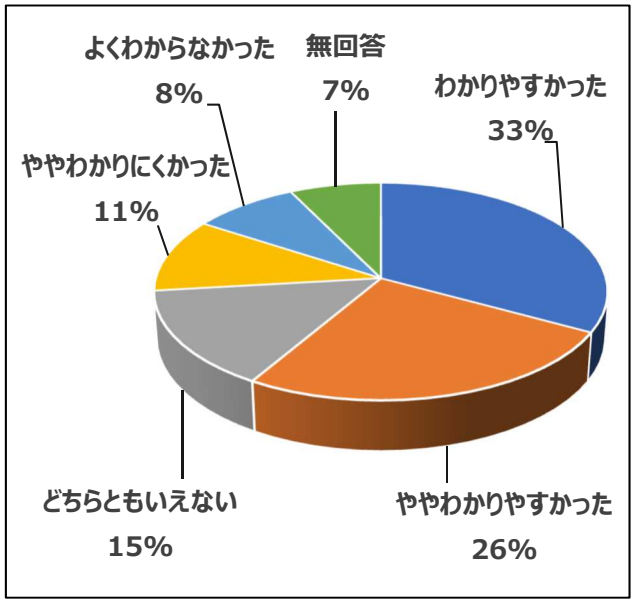
問４　本日の説明はわかりやすかったですか。

１．わかりやすかった　２．ややわかりやすかった　３．どちらともいえない

４．ややわかりにくかった　５．よくわからなかった

回答４

1．わかりやすかった	２７人
2．ややわかりやすかった	２１人
3．どちらともいえない	１２人
4．ややわかりにくかった	９人
5．よくわからなかった	７人
無回答	６人



○「わかりやすかった」，「ややわかりやすかった」の回答が，５９％であった。

問５　問４で「４．ややわかりにくかった」「５．よくわからなかった」と回答した方にお聞きします。
次回以降の説明会の参考としたいので，その理由を教えてください。

回答５

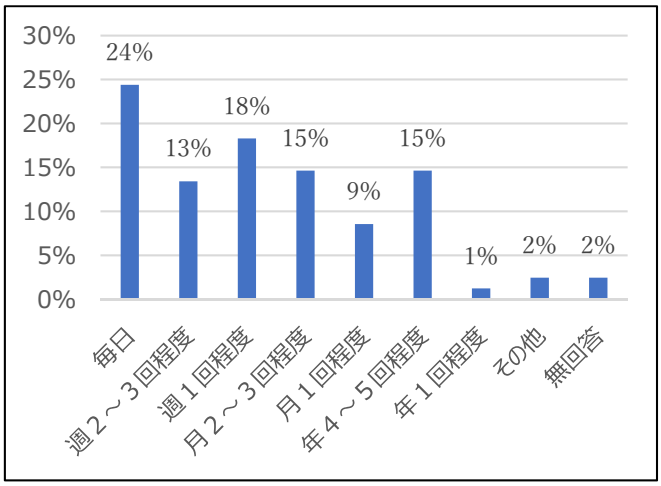
・マスクをしての話は聞きづらい。年齢的に耳が遠い。
・説明会の目的にそぐわない人が多すぎる。非常に不愉快。
・中高層条例の申請前に説明会を開催してみてはどうか。
・公共施設のあり方が不明。
・市としてのビジョンが分からない。将来を見据えてない様に感じた。
・商業地域に公共施設が必要な理由がよく分からない。組合から市への要望の根拠が分からない。
・議論が全くかみ合っていない。開催の趣旨・目的等を事前に明確に示してほしい。
・公共施設のあり方について討論をしぼって運営してほしい。総括的な街づくり（将来展望）はとても大事であることは間違いない。
・JR 駅の存続が第一だが大丈夫か。
・具体性に欠けていた。広く市民の声を聞くことが２回では少なすぎる。
・公共施設と賑わいは別問題。
・４施設の統合は，中途半端なものしかできない。既存施設の利用者の声を，もっと聞くべき。

問６　駅前・大門地区にはどのくらいの頻度で来ますか。

１．毎日　　２．週２～３回程度　　３．週１回程度　　４．月２～３回程度
５．月１回程度　　６．年４～５回程度　　７．年１回程度
８．その他（　　）

回答６

１．毎日	２０人
２．週2～3回程度	１１人
３．週１回程度	１５人
４．月2～3回程度	１２人
５．月１回程度	７人
６．年4～5回程度	１２人
７．年１回程度	１人
８．その他	２人
無回答	２人



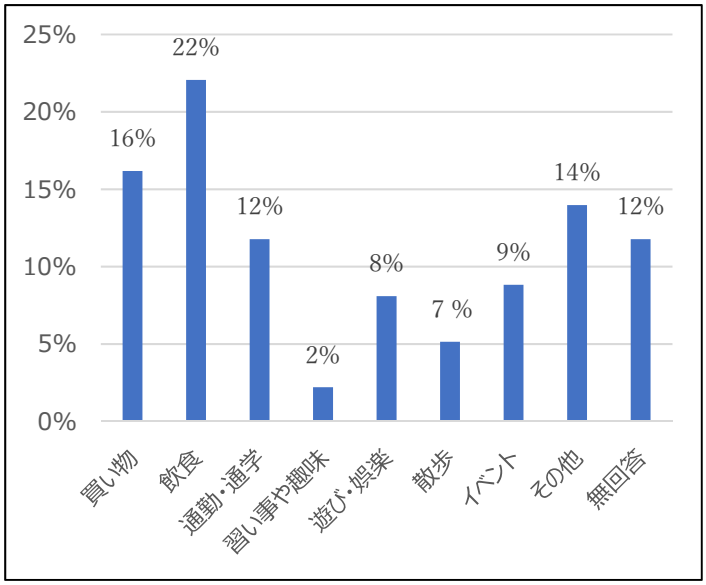
○駅前・大門地区への来街頻度は，「毎日」が最も多く，全体の２４％を占めた。

問７　駅前・大門地区を訪れる主な目的は何ですか。（複数回答可）

１．買い物　　２．飲食　　３．通勤・通学　　４．習い事や趣味
５．遊び・娯楽（みらい館，キッズプラザ，映画等）　　６．散歩
７．イベント　　８．その他（　　）

回答７（複数回答）

１．買い物	２２件
２．飲食	３０件
３．通勤・通学	１６件
４．習い事や趣味	３件
５．遊び・娯楽	１１件
６．散歩	７件
７．イベント	１２件
８．その他	１９件
無回答	１６件



問８　駅前・大門地区にあったら良いと思うお店やサービスなどはありますか。
１．買い物（　　）　２．飲　食（　　）　３．その他（　　）

回答８－１．買い物
・デパート
・アウトレット
・ショッピングモール
・アウトドア専門店
・食料品を中心にしたスーパー
・魚介ではない市場（野菜とか乳製品）
・コストコやイケア
・書店文具店，専門店
・全国展開店舗
・高級ブランド店
・低単価の雑貨などの集積
・商店街的なまちづくり
・観光客，ビジネス客に必要な商品や地元客にはここでしか買えない物を扱う店

回答８－２．飲　食
・専門店（カレー，スイーツ，ラーメン，そば等）
・家族向けの飲食店（ファミレスなど）やレストラン
・焼肉チェーン店
・函館を感じられる居酒屋街
・スナック，カラオケアミューズメントなど
・日中営業する店
・特色ある食の提供
・函館，道南でしかない飲食店
・函館名物・地元素材を使用している料理，また次世代の名物となりそうなもの
・地元の起業したい人がチャレンジ出来るようなもの
・中高生が使える大規模チェーン店と地元企業へノウハウの共有を含めた連携
・広告（看板）の規制（色，デザインなど駅前通りだけでも規制の必要性を感じる）

回答８－３．その他

・博物館，函館歴史楽しく学び場
・書店，図書室，ふらっとDaimon
・ギャラリー，音楽ホール，文化的な施設
・水族館等
・緑の広場，広い公園
・映画館
・温泉施設，サウナ施設
・フィットネスクラブ，マッサージ店
・カラオケ，ネットカフェ等，アミューズメント施設
・出張者，ビジネスマン向けワーキングスペース
・市内と来函者のビジネスマッチングの場
・格安レンタルルーム（ミーティングやサークル，女子会，勉強会などの場）
・道内地域のアンテナショップ（月替わり）
・娯楽，イベント（常設），イベント広場
・駐車場（無料），大規模立体駐車場
・保育所
・子ども達を見守りながらゆっくり出来るカフェ，世界遺産の紹介の場，アーバンデザインセンター，コミュニティカフェ
・子育て世代の住居，教育施設，投資目的や別荘ではなく市民が生活できるマンション
・観光の方が喜ぶ事業
・大人が一日滞在できる場
・大手企業ではなく，地元企業を使ってほしい。若い人中心に検討してほしい。
・ホスピタリティの強化，育成事業

問９　棒二森屋跡地の公共施設整備に関して期待することは何ですか。

回答９

〇公共施設について

・地域活性化，子どもから高齢者まで年齢問わず使いやすい公共施設。

・集客が期待できるもの。

・市民の集う場，研修施設，イベントスペース，決して高齢者のみの集う場とはしない。

・デザイン性の高い施設，大学生が集まる施設。

・棒二森屋跡地を生かした公共施設整備。

・市民，観光客にひらかれた施設，住民と観光客の双方にメリットのある施設。

・市民以外の観光客などに対しても魅力的な施設。

・「函館らしさ」が見える整備をして欲しい。民間と公共施設の共存は好ましくない。

・文化・交流に利用できる充分なスペース，機能。

・文化的な催しの開催。

・演劇，映画などのホール，ギャラリー（芸術品の発表の場）。

・大型ステージなどの音響ホール，展示会場など。

・図書館の機能，中央図書館の本の貸出返却窓口の設置。

・蔵書を多いまま残して欲しい。

・市の窓口（住民票，各種証明書等）。

・昭和４０年代～５０年代の駅前地区の賑わいの復活。若い世代が集まる場所。周辺施設の複合化については，反対意見（おそらく高齢者）が予想されるが，これからの人口減少対策には集約が必要。跡地は民間に払い下げ，新たな居住人口を増やす施策。

・現状のサービスを保持，またはそれ以上のものが出来ない施設は残すようにしてほしい。

・財政負担軽減のため，現行の内容を維持できない公共施設の移転には賛成しない。長期的都市計画ビジョンのシステム。

・既存の公共施設の集約はやめて，市民が気軽に使える文化行事を催すような空間。絵，音楽，落語などのできる空間，市民の趣味の展示，交流の出来る空間。
・人が多く集まる使いやすい施設，統合する施設は慎重に選んでもらいたい。
・多機能，全天候型施設。
・駐車場の整備。
・市民の意見を聞くこと。
・一日も早い整備完成を期待する。

〇再開発事業について
・観光客や市民が買い物，食事等を楽しめる憩いの場。
・人を呼ぶ施設のほか，そこで勤める人が増えることでにぎわいが生まれる。
・近隣の市町村からの集客。
・休日丸一日駅前・大門地区で過ごせるような施設の整備は民間，企業の誘致が必要。
・どこのまちにでもある形のスタイルではなく，市民に根付く建物。
・公共施設ではなく，商業施設に集中すべき。観光客に必要な施設にすべき。
・人が集まり賑わう駅前にするために公共施設は不要。
・函館の顔としてふさわしい施設，明石信道の作品を何らかのかたちで残してほしい。

〇その他
・若い人々を大切にし，流出しない施策。
・駅前・大門地区を活性化させる話と高齢者の事は切り離して考えてほしい。お風呂のある高齢者施設や普段着で気楽に集まれる場所が必要。
・駅前へ行く交通アクセス，市電以外でバス利用の利便性などを改善し，買い物に行く場として提供。
・人口減少が続くかぎり，本当ににぎわいが生まれるか疑問。
・経済が潤うこと。
・歩道・道路の整備。